



環境ユニバーシティ

岐阜大学の取り組み 2018



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

環境ユニバーシティへようこそ

日本をはじめとするいわゆる先進諸国では少子高齢化が問題ですが、全世界的には人口爆発が続いていることは周知のとおりです。これを地球という限られた広さで支えるわけで、当然単位面積当たりの環境負荷が著増することは言うまでもありません。地球温暖化もその一端です。従って現在では地球環境を各国単位ではなくグローバルに守ることが、人類の将来にとって必須の課題です。世界の一員である我が国においてもエネルギー環境をはじめ問題が山積しており、個々人から始まる各レベルで環境問題に取り組む姿勢が不可欠です。

国立大学法人岐阜大学は、2009年「環境に配慮した特色ある活動を継続的に展開、地域社会に貢献し、地域とともにあり続ける大学」として『環境ユニバーシティ』を宣言し、環境対策に関する取り組みを積み上げてきました。2013年にはISO14001の取得が全学レベル（医学部附属病院を除く）で完了し、2014年1月28日、審査登録証を授与されました。一つの事業体として一定の到達目標を達成できたものですが、今後はその定常的な見直しとレベルの維持、向上が責務です。

そこで、2016年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」を受け、本学の二酸化炭素排出量の削減目標を「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比40%削減」と掲げ、医学部附属病院で行っているESCO事業の導入とともに、学内における積極的なエネルギーマネジメントを行うことで、目標達成に向けて取り組んでいます。

また、高等教育機関／高度研究機関でもある大学として、水環境、エネルギー環境などに関する教育と研究を積極的に展開し、広く国際貢献を行うことも意識しています。その目的で2015年度には研究推進・社会連携機構の直轄組織として「次世代エネルギー研究センター」を立ち上げました。その成果は、一定の地域を対象とした社会実装試験による検証段階に至りました。さらに先行する「流域水環境リーダー育成事業」ではアジアを中心に170名を超える人材（修士課程修了生）を既に輩出し、それぞれが帰国後、各国、各地域で環境対策リーダーとして活躍しています。

このような実績を踏まえ、岐阜大学は今後とも教育研究機関として、また一事業体としても環境問題により積極的に取り組んで参ります。



岐阜大学長
最高環境責任者 森脇 久隆

環境ユニバーシティを卒業して

トヨタの森 インタープリター 片山 あゆみ

住友林業緑化(株) 環境緑化事業部

2006年度 農学部(現:応用生物科学部)卒業

森が好きで、学生時代は森林生態学研究室で、落葉樹林の中で芽生えた稚樹の定着過程について調査・研究していました。また、学内に森をつくろうと奮闘中のサークルthreetrees(スリーツリーズ)に入り、バス停を緑化したり、木を植えたりといった活動を通じて、森や環境のためにできることを楽しみながら追い求めていました。

現在はトヨタの森でインタープリター(森の案内人)をしています。トヨタの森とは、かつて里山として利用されていた森をトヨタ自動車株式会社が社会貢献活動の一環としてオープンした環境学習施設です。愛知県豊田市の市街地からほど近い丘陵地帯に位置していて、雑木林や水田跡などの豊かな環境の中で多種多様な動植物が生息しています。業務を通して「五感を研ぎ澄まし全身で感じることの大切さ」や、「自然界は何一つムダがなく、命はつながっていること、そのどれが欠けても生態系全体のバランスは崩れていくこと」を、身をもって感じました。そして森の中で仲間や家族と一緒に受ける「感動体験-森の魅力を肌で感じること-」が、互いへの感謝の気持ちや自然を大切にしたいという気持ちにつながることを知りました。こうした環境教育活動は、自然や環境問題に興味のない人にとっての入口の役割を果たす意味でもとても重要だと感じています。

2018年4月に、学生時代threetreesの活動として桜の植樹をさせてもらったお寺の住職さんとトヨタの森が共同でイベントを実施しました。threetreesの現役岐阜大生が、かつて私達が桜を植えたお寺の裏山を整備し、地元の小学生とコラボしてムササビやフクロウのために巣箱をかけることで、岐阜大生にとっては新たに学外で活動できるきっかけとすることができ、小学生にとっては地域の自然環境の魅力を知る機会となり、学生の頃の活動と今の業務が繋がった嬉しい瞬間となりました。

学生の頃学んだ森林や樹木の知識、また経験した様々な活動は、今の自分の重要な基盤であり、また新しく何かを考えたり組み立てたりする際の大切な指針となっています。今後も学生の頃感じていた初心を忘れず、様々なことに取り組んでいきたいと思います。



イベント風景

エコの森ハウス



ムササビ

環境ユニバーシティ宣言をしています

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ宣言」をしました。

岐阜大学環境方針

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに環境を担う優れた人材育成に努めます。

基本方針

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

2016年4月1日

岐阜大学長
最高環境責任者

森 昭久 隆



環境マネジメントの取り組み



全学でISO14001：2015を認証取得しています！(附属病院を除く)

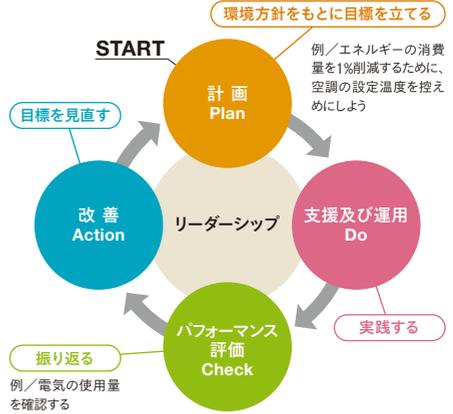
2015年9月に規格が改定されたことに伴い、2016年10月に移行審査を受審し、ISO14001：2015版の認証を取得しました。

ISO14001の認証取得とは？

国際標準化機構が制定した、各組織(企業、大学等)が「環境マネジメントシステム」を構築するための基準です。各組織の「環境マネジメントシステム」がその基準にそって構築され、運用されていることを第三者の審査機関によって認められることが必要です。

環境マネジメントシステムとは？

大学の教育・研究活動を進めることによって生じる環境への影響を少なくするために、環境目標を設定し、その目標達成に向けて、環境配慮活動に取り組み、評価し、改善していくPDCAサイクルを基本とし、スパイラルアップによる継続的改善を目指す仕組みです。



大学活動におけるマテリアルバランス (2017年度)



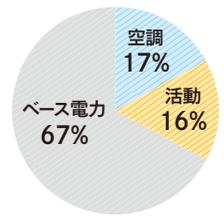
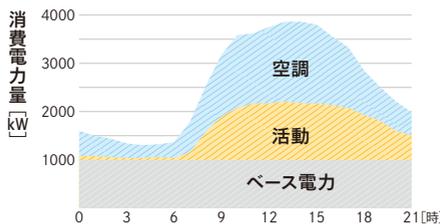
エネルギーマネジメントの取り組み

二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比40%以上削減します！

空調負荷の抑制、再生可能エネルギーの導入、改修工事による省エネ設備の導入、ESCO事業など、これまで取り組んできた省エネルギー活動に加えて、年間の消費電力の約67%を占めるベース電力の削減に取り組んでいます。

冷蔵庫やフリーザーなどの24時間稼働機器の更新や不要機器の停止を行い、ベース電力を削減していきます。

本学は、低炭素社会の実現に向けて更なる省エネルギーを目指しています。



本学の時間毎の消費電力の推移 (冬期実績値)

年間の消費電力内訳 (計算値)

環境に関する教育

集中講義「環境、CSR（企業の社会的責任）とマネジメント」

NEW



現代の社会では、生産活動を展開する企業には、利益を追求するだけでなく、法律の遵守、環境への配慮、コミュニティへの貢献などが求められ、企業の社会的責任（CSR）が問われるようになってきました。このことは、教育の現場である大学にとっても同様で、「教育・研究」「経済・財政」「環境・社会」の側面から「大学の社会的責任（USR）」が求められています。

この講義では「環境」さらには「CSR・USR」をマネジメントシステムの一環と捉え、社会の中の企業・大学のあり方についてグループワークを交えながら理解を深めます。

全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」（前学期・後学期）

この講義では、今、地球が抱えている環境問題の現状や、環境マネジメントシステムの枠組み、実際の内部環境監査の手法について学習します。市役所や企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、自治体や企業が取り組んでいる環境対策活動について紹介していただいたり、環境に配慮した設備の見学も実施しています。

毎学期定員の50名を上回る履修希望者がおり、学生の環境への意識向上が感じられます。



岐阜市メガソーラー発電施設の見学

各学部の環境に関する講義（講義数及び主な環境講義）

全学共通教育	24科目	●現代環境学 ●岐阜県の生物の分布と生態 ●教養の環境学 ●人と自然の関わりから見た岐阜
教育学部 教育学研究科	44科目	●地球環境論 ●動物生態学 ●環境化学 ●野外実習 ●植物形態学及び実験
地域科学部 地域科学研究科	46科目	●都市環境工学 ●環境法 ●農村振興論 ●環境物理学特論 ●環境保全論
医学部 医学系研究科	5科目	●地域における健康危機管理 ●産業保険 ●産業衛生学セミナー
工学部 工学研究科	57科目	●水環境科学 ●河川工学 ●環境デザイン ●都市交通計画 ●地球環境セミナー
応用生物科学部	173科目	●バイオマス化学 ●植物栄養学 ●食品加工学 ●野生生物フィールド実習 ●先端基礎獣医学特別講義
自然科学技術研究科	101科目	●地球環境計測工学 ●気象環境システム論 ●環境微生物化学特論 ●外来種管理学特論

環境配慮活動

学生による内部環境監査



学生たちは、ISO14001の内部環境監査について研修を受け、職員とともに、本学の環境マネジメントシステムの取り組みについて、学生の視点から監査を行います。

2017年11月、学長より内部環境監査員養成研修修了証書が15名に授与されました。



「eco検定」勉強会



「eco検定」とは、東京商工会議所が主催する、環境問題について幅広い基礎知識を問う環境社会検定試験です。

環境問題に興味のある学生が集まり、今年度も合格を目指して勉強しています。

環境マインドを持ち、環境についての知識が豊富な学生が増えることを期待しています。

岐阜う米(まい)プロジェクト



FC岐阜との環境連携事業として、米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的とした活動です。

第1弾：親子田植え体験・どろんこサッカー（5月）

第2弾：稲刈り（10月）

第3弾：FC岐阜選手へ収穫したお米の贈呈（11月）

クリーンキャンパス



キャンパス環境美化の取り組みの一環として、毎年2回（5月・11月）、全学で実施しています。

学生や教職員700名以上が参加し、キャンパス内やキャンパスに隣接する新堀川周辺のごみ拾いを行っています。

2017年11月には大学構内河川に繁茂したオオフサモ（特定外来種）の駆除も行いました。



チェックしてみよう!

チェック内容		チェック
エアコンの設定温度は控えめにしよう 室温の目安：夏28℃、冬19℃		
照明の使用を必要最小限にしよう		
部屋を最後に離れるときは、エアコン・照明をOFFにしよう		
ごみは分別して、ごみ箱に捨てよう		
実験に使用した薬品は、「実験廃液等の分別貯留ポスター」に従って、適切に廃棄しよう		

岐阜大学の環境への取り組みは、
岐阜大学のホームページで紹介しています。



<http://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/>

岐阜大学 環境対策

ISO14001の活動を一緒に行ってくれる学生を募集しています。

岐阜大学には、内部環境監査をしたり、エコ検定を受験したりと、自主的に活動をしている学生がいます。

興味のある人は、右のQRコードまたは下記メールアドレスにご連絡ください。



岐阜大学EMS専門委員会：iso_ems@gifu-u.ac.jp

問い合わせ先

岐阜大学環境対策室（施設環境部 環境企画課）

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL：058-293-2118 FAX：058-293-2125